



## 「チームたかしま便り」 ～高島市の医療、介護、福祉に携わる皆様とともに～

第3号  
2024. 8 発行

今年の暑さは、格段の厳しさですね。体調を崩されていませんか。支援を届けてくださる皆様も健康が第一です。自分の身体も気にかけて、休養や睡眠、水分・栄養補給を大事に、リフレッシュして元気な笑顔でいてください。さて、今年度実施した事業の中から、少しご紹介します。紙面で共有していただけると嬉しいです。

### 在宅療養講演会を開催しました

7.20 開催 参加 126名

### 「最期まで目一杯生きる」

講師： 萬田 緑平先生 緩和ケア 萬田診療所 院長



亡くなる前日まで「生きさせてあげたい」「亡くなるまで生きるのを手伝いたい」とガン末期の方とご家族の支援をされている萬田先生  
2,000人以上の方を看取られています

ご本人とご家族の最期の時の映像や写真をたくさん拝見し、想いを聴かせていただくことができました  
そこには、本当に**幸せな笑顔、心からの「ありがとう」感謝の言葉**があふれていました

#### 萬田先生の講演から

- ・本人の意思を大切に、嫌なものは嫌なんだ。喜ぶことをしてあげよう
- ・本人の好きなようにという方針にしたなら、こんなに本人が喜ぶ
- ・身体が弱っていくから死ぬ
- ・医療に頼れば、すべてうまくいくわけじゃない  
医療はちょっとでも生かして、ちょっとでも死亡率を下げるのが医療の基本  
とにかく心臓が動いていれば医療的には正解。本人の願いとか関係ない
- ・子どもが3歳でも4歳でも亡くなっていくことはわかります。  
だからちゃんと伝えましょう。向き合ひましょう
- ・頑張りは禁句。「ありがとう」と言ってあげればいい  
「かわいそう」と言うが、言われない人の方がかわいそう
- ・僕は家族が本人に「ありがとう」と言えるように全力を尽くします。
- ・心の状態は周りが盛り上げてあげれば上がる
- ・本人がしたいことをそうだねと言ってあげるのが支える。本人がやりたいことをいいんじゃないと応援することが支える。
- ・家族がもっと心の状態を良くしてあげれば、「ああ幸せだ」と死んでいきます  
喜んだ、幸せそうだったと思えるから、笑顔  
別れの悲しさの涙と、充分にしてあげられた、幸せにしてあげられたという笑顔



#### 参加者の声 アンケートから

##### ○講演内容について

- ・実話で1人ひとりの苦しみ→努力 感動と涙の時間でした。ありがとうの言葉の大切さが身に沁みました。
- ・本人の意思を尊重する事の大切さを学んだ。
- ・在宅を考えるきっかけになった
- ・終末期のあり方について、気づかされるが多々ありました。

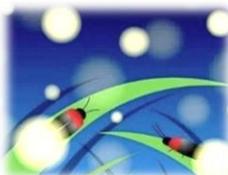
##### ○一番心に残ったこと

- ・支える意味…。しあわせの意味…。いい人生だったの意味を教えて下さった。
- ・安らかな心で逝った人の姿。本人だけでなく、周りの人も笑顔で見送った姿

##### ○自分らしく最期まで生き抜くのに大事なこと

- ・自分がどういふ最期を迎えたいか、きちんと家族に伝え尊重してもらうこと
- ・心の内を聞いてもらえる病院 身近にあれば

※「たかしまマイウェイノート」を68名の方にお持ち帰りいただくことができました。  
市民の皆さんが自分らしく生きるために活用していただき、それを応援しましょう。



## 第143回高島市医療連携ネットワーク運営協議会を開催しました

7.4開催 参加 25名

### 「高島市の人口減少について」

講師：中西 崇史氏 高島市 政策部 総合戦略課 主査

高島市は  
消滅する!?  
どうする?

人口戦略会議はこの4月に、高島市を”消滅可能性がある自治体”と発表。  
2月のネットワークでは、「高島らしい地域包括ケア」を目指してマンダラーチャートを皆で作成しました。  
そこでも人口が大切な要因に挙がり、高島市役所にこれからの高島市について聞いてみようということになりました。

話題提供から

人口推計では、2030年を過ぎた頃には人口が40,000人未満・2050年頃に32,000人に減少してしまい、高齢化率が50%となるとされている。

しかし、転出超過が抑制されていることから地方創生の取り組みの効果が表れている  
近年は外国人の転入者数が増加しており、市内企業での雇用が増えてきている  
社会増減数が格段に抑制されていることや新たな企業の開業等による就業者数の増加も期待できる

#### 高島市の戦略は！「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」(2020～2024年)

- ①観光や海外での特産品販売等
- ②高校生や若者との研修会や交流会を実施、移住定住コンシェルジュの配置、JR西日本との連携等
- ③こどもの医療費助成や保育料・学校給食費の無償化等 子育て支援では県下でもトップクラスの充実した内容です
- ④広報紙をLINEで閲覧できる、企業誘致から介護サービスまでを検討、スポーツツーリズムの振興、区防災計画や公共交通の利便性の向上等

参加者の声  
意見交換から

- ・大学がない、働く場がないので、若者は出ていく。若い人たち、外国人も住みやすいところが必要
- ・大都市まで通勤は1時間位なので、交通インフラの充実が必要
- ・フルタイムで就労できるように子どもを預かってもらえる体制がもっと必要
- ・魅力ある地域づくり、もっと良いところをアピールすると良い

高島市は  
住みよいまち！

## 第144回 高島市医療連携ネットワーク運営協議会

今回は

日 時：9月5日(木) 14:00～15:15  
会 場：安曇川公民館 ふじのきホール  
話題提供：「歯科の訪問診療、どんなことができる？」  
話題提供者：高島市歯科医師会  
林歯科医院 院長 歯科医師 撰 能理子先生

ぜひ、ご参加ください。



<事務局からのお願い>

☆各関係機関の皆様へ

多職種が参加可能な研修会や届けたい情報等がありましたら、**情報提供**をお願いします。

ホームページにもアップさせていただきます

☆ **大募集!!** 皆さまからの 投稿、ご意見、ご感想をお待ちしています

☆医療や介護、福祉関係で、頑張っていること、良いこと、知ってほしいことを発信し、共有しつつ、**誰もが自分らしく暮らしやすい高島市**にしていきたいと思います。

○ホームページもチェックしてください 「チームたかしま」で検索

[t-takashima.net](http://t-takashima.net)

○「高島市在宅医療 地域資源マップ」「たかしまマイウェイノート」必要時 ご連絡ください



【お問合せ先】<事務局> 高島市医師会 在宅療養支援センター

〒520-1121 高島市勝野1667 高島市民病院内

TEL:0740-20-9005 FAX:0740-20-9006 E-mail:[takashima-med@office.eonet.ne.jp](mailto:takashima-med@office.eonet.ne.jp)